

親子聖書日課

NO.1896 2025.1/26-2/1

名前

[日]保証人は、借金を背負った人に代わって、その負債を支払う責任があります。ヒゼキヤは死という容赦ない取立人に対して、神を保証人として求めました。事実、主は私達の保証人となって、十字架で命を捨てて、罪の負債を支払ったのです。

[月]ヒゼキヤ王は信仰によって病気が癒されたのに、その恵みを感謝するよりも、富を誇りました。故に、富は全て取り去られます。高慢と不信仰が、神の恵みを無駄にします。全てのものは、主から与えられたものですから、主を誇りましょう。

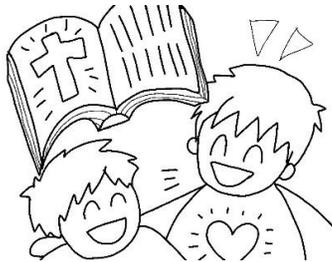
[火]40章からは「第二イザヤ」と呼ばれ、裁きが終わった後の救いを語ります。「私の民を慰めよ」と主が言われたのは、全ての咎を主が償ったからです。「苦役の時(罪のための捕囚)が今や満ちた」のは、主の十字架の贖いで実現しました。

[水]鷺は上空の気流に乗って、悠然と大空を駆け巡ります。雀や鳩のように、翼をばたつかせることはありません。主に信頼する者も、鷺と同じように、信仰という翼を張って上るだけで、新たな力を得、目的に向かって元気に歩むことができます。

[木]神は私達が立派な人間なので選んだわけではありません。「虫けらのようなヤコブ」とは、小さく卑しく弱い存在である私達をあえて選んで、生活の隅々まで守って下さるのです。贖い主が共にいて下さるので、何も恐れることはありません。

[金]創造主である神は、私達に水と食物を与える方です。私達の周りが荒れ野のように不毛の地であっても、そこをオアシスとして下さいます。それが教会です。主を信じることによって、渇くことのない命の水を値なしに飲むことができます。

[土]「傷ついた葦」「暗くなってゆく灯心」とは、役に立たない存在のことです。しかし、主はそのような者も見捨てず、期待をかけて下さいます。つまづき倒れても、主の下に行くなら、希望と平安と喜びが与えられます。主こそ真の医者です。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 38:1-22	ヒゼキヤ王は主に、私の何になって下さいと求めましたか。	
月	39:1-8	ヒゼキヤ王が王宮にあるものを全て見せたのでどんな日が来ますか	
火	40:1-11	草は枯れ、花はしぼむが私達の神の言葉はどうなりませんか。	
水	40:12-31	主に望みを置く人は何を得ますか。	
木	41:1-16	恐れるな、何のようなヤコブですか。	
金	41:17-29	イスラエルの神である私は彼らをどうしませんか。	
土	42:1-17	暗くなることも、どうなることもありませんか。	
	感想と祈りの課題		